

# 一般会計予算決算常任委員会審査日程

日時 平成31年3月6日

午前10時

場所 議場

議案第2号 平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算(第9回)について

(1) 各分科会長報告・質疑

(2) 討論・採決

## ■分科会長報告概要■

		平成 31 年 3 月定例会
		一般会計総務文教分科会
議 案 件 名	議案第 2 号 平成 30 年度山陽小野田市一般会計補正予算 (第 9 回) について	
担 任 事 項	総務文教分科会担任事項	
概 要	歳入歳出とも 7 億 4,093 万 7,000 円を減額し、予算総額を 299 億 5,153 万 3,000 円とするもので、歳入の主なものは繰入金、市債の減額、地方交付税、財産収入の増額で、歳出の主なものは、退職手当、財政調整基金積立金の増額、本庁舎改修事業費、埴生小・中学校整備事業、学校給食共同調理場建設事業費の減額等である。	
論点又は質疑 によって明らか になった事項 など	<p><b>【歳入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地方交付税 1,338 万 5,000 円の増額</li> <li>○県支出金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害救助費 202 万 7,000 円の増額 平成 30 年 7 月豪雨災害被災地域である広島県、岡山県への人的・物的な災害応援に要した経費の求償分</li> </ul> </li> <li>○財産収入 <ul style="list-style-type: none"> <li>・不動産売払収入 8,922 万 1,000 円の増額 12 件の市有地、法定外公共物の売払いによる</li> </ul> </li> <li>○繰入金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政調整基金繰入金 3 億 8,280 万 4,000 円の減額</li> </ul> </li> <li>○諸収入 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総務費雑入 447 万 9,000 円の増額 病院局での勤務期間のある職員の退職に対する負担金 (主な質疑) 「財産売払いの主な場所と金額は」との質問に「一番大きなものは中央一丁目の市有地であるニチイ跡地で、8,288 万 8,880 円である」との答弁</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【歳出】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○議会費 <ul style="list-style-type: none"> <li>・備品購入費 121 万 6,000 円の減額 第 2 委員会室の音響設備の整備の落札減</li> </ul> </li> <li>○人件費全般 <ul style="list-style-type: none"> <li>総務費 <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員手当等 1,845 万 9,000 円の増額</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	

増額理由：市長部局の職員1名が退職したため

- ・負担金、補助及び交付金の他会計負担金 1万7,000円の増額

増額理由：病院局で退職する職員の退職手当について、市での勤務期間の負担をするもの

#### 教育費

- ・職員手当等 9万5,000円の増額

増額理由：教育委員会事務局の職員1名が退職したため

#### ○総務費

- ・情報管理費 1,511万円の減額

元号改正に伴うシステム改修において、財務会計システムなどを一部改修にとどめたため

- ・財産管理費 1億456万円の増額

旧南部福祉センター解体工事の落札減 300万円の減額

財政調整基金積立金 1億756万円の増額

- ・本庁舎改修事業費 4,800万円の減額

落札減及び業務実績によるもの

- ・市民館改修事業費 1,053万5,000円の減額

落札減及び工事の精査によるもの

#### ○公債費

- ・地方債利子 900万円の減額

平成29年度事業で事業費の減額や事業の繰越しなどがあり、市債の借入額が減額となったため

#### (主な質疑)

「旧南部福祉センターの解体工事金額は」との質問に「税込み972万円で落札している」との答弁

「市民館の改修工事は、順調に進んでいるのか」との質問に「高力ボルトの入荷遅れがあったが、現在は入ってきて工事は着々と進んでいる」との答弁

「高力ボルトの入荷遅れで、工事が何箇月遅れるのか。その間、工事は完全に止まっていたのか」との質問に「4か月遅れているが、高力ボルトの必要のない工事は着々と進めてきた。また、企業努力により高力ボルトがない状態でも先にできること等を行って、着々と進めてきた」との答弁

#### ○消防費

- ・常備消防費 237万4,000円の減額

歳計剰余金による減額並びに消防車両、資機材等の入札及び見積り合わせによる減額によるもの

- ・ 消防施設費 543万6,000円の減額  
消火栓の改良工事が、水道管路更新の工期延期や中止によりできなくなったため

○教育費

- ・ 指導研究費 861万円9,000円の減額  
小・中学校教員用のノートパソコンの更新時期が8月から3月になったことによる
- ・ 教育振興費 207万4,000円の減額  
小・中学校教員用のノートパソコンのクライアント運用管理サーバの更新時期及びフィルタリングサーバの更新時期が6月から3月になったことによる
- ・ 学校建設費 2,883万1,000円の減額  
埴生小学校新児童棟建設の工事監理業務委託料及び工事請負費の落札減等によるもの
- ・ 図書館費 10万円の増額  
市民からの寄附によるもの
- ・ 給食費 437万9,000円の減額  
学校給食センターの昇降設備の保守委託料が初年度は無料となったことや給食配送委託料の落札減によるもの
- ・ 給食共同調理場建設費 2,761万5,000円の減額  
調理用消耗品購入等の落札減によるもの

(主な質疑)

「埴生小・中学校の児童棟新築工事の監理委託料の落札率が約40%と低いが、その原因について協議をしたか」との質問に「落札後に協議をしたということはない」との答弁

【繰越明許費】

- ・ 本庁舎改修事業 907万2,000円  
建築確認申請における既存不適合の取扱い等で調整が必要となり、年度内完了が困難と想定されるため
- ・ シティセールスPR強化事業 21万円  
PRロゴマークの商標登録手続を済ませたが、特許庁による審査が年度内に終了しないため
- ・ 消防水利施設整備事業 72万3,000円  
水道管路の更新に係る消火栓改良工事のうち、労災病院線配水管改良工事が年度内に完了しないため

## ■ 分科会長報告概要 ■

	平成 31 年 3 月定例会
	一般会計民生福祉分科会
議 案 件 名	議案第 2 号 平成 30 年度山陽小野田市一般会計補正予算 (第 9 回) について
担 任 事 項	民生福祉分科会担任事項
概 要	今回の補正は、決算を見込んでの委託料や手数料、給付費や扶助費等の減額、地域介護・福祉空間整備事業交付金事業補助金の計上などによるもの
論点又は質疑 によって明らか になった事項 など	<p><b>【歳出】</b></p> <p>○総務費</p> <p>3 項 戸籍住民基本台帳費のシステム改修委託料 1,224 万 5,000 円の減額は、マイナンバーカード等への旧姓併記対応に係る住民基本台帳システムの改修委託で、予想される状況に最大限対応できるよう予算計上していたが、契約時には仕様も明らかになり 1,116 万 7,200 円の減額、山耕地番解消に伴う戸籍システム改修費 122 万 9,400 円の減額、プリンターシステムを新元号に対応するための作業費用 15 万 1,200 円の増額によるもの</p> <p>○民生費</p> <p>1 項 社会福祉費の地域介護・福祉空間整備交付金事業補助金 633 万円は、地域密着型介護施設「いつは」の市道に面しているブロック塀を改修するもので、負担割合は国が 2 分の 1、市と事業者が 4 分の 1 で、対象額は 844 万 1,000 円</p> <p>(主な質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「事業者の申請により、調査をして事業に乗る形となっているのか」との問いに「国から問合せがあり、施設に声かけして要望いただいたもの」との答弁</li> </ul>

・「ほかの介護施設は問題ないと考えているか」との問いに  
「昨年夏に対象施設の調査を行い、介護施設は比較的新しいものが多く、古いブロック塀が少なかった。古い民家を改造して使用している施設もあるが、このたび補正する施設が一番重要度が高いと考えている」との答弁

2項 児童福祉費の設計委託料 900 万円の減額は、山陽地区保育所整備に係る実施設計委託料について、受託業者から前払金不要との申出があり、今年度の支出が基本設計委託料全額のみとなったことによるもの

3項 生活保護費の償還金 9,042 万 4,000 円の増額は、昨年度の生活保護受給者数の減少により、不用額が生じたものに係る国庫負担金超過分を返還するもの

(主な質疑)

・「生活保護受給者数の減は自立によるものか」との問いに  
「平成 29 年度は廃止が 87 件で、そのうち死亡が 29 件、自立は 25 件。今年度についても死亡による廃止が一番多いが、働きによる収入による自立が 17 件と 2 番目に多い状況」との答弁

#### ○衛生費

1項 保健衛生費の水道事業会計繰出金 156 万円の増額は、水道局職員の児童手当 15 万 2,000 円の減額と、昨年 7 月の豪雨災害時に水道局職員が広島県と岡山県に出向き給水活動をした際の災害応援経費を繰出金として 171 万 1,399 円計上

同項の設計委託料 151 万 4,000 円の減額は、新火葬場の外構設計委託料と現山陽斎場の解体実施設計委託料の入札減によるもので、工事請負費 2,077 万円の減額は、機械設備工事費増や下水道敷設工事入札減などの差引きによるもの

#### ○災害復旧費

	<p>4項 厚生労働施設災害復旧費の工事請負費 1,796 万 6,000 円の減額は、山陽処分場のり面崩落に伴う工事で、緊急のため専決処分に対応したが、その後、工事内容等を精査したことによるもの</p>
--	--

## ■分科会長報告概要■

		平成 31 年 3 月定例会
		一般会計産業建設分科会
議 案 件 名	議案第 2 号 平成 30 年度山陽小野田市一般会計補正予算 (第 9 回) について	
担 任 事 項	産業建設分科会担任事項	
概 要	今回の補正は、人件費の調整、国・県の事業費に係る負担金、補助金及び交付金の確定に伴う事業費について、決算を見込んでの補正である。	
論点又は質疑 によって明らか になった事項 など	<p>【 4 款 衛生費 】</p> <p>歳出では、1 項 3 目 19 節負担金、補助及び交付金、浄化槽設置整備事業補助金 1,181 万 6,000 円の減額は、当初予算として 3,168 万 6,000 円を計上していたが、補助金交付実績を考慮した決算見込み額が 1,987 万円となり、減額するものである。内訳は当初予算では浄化槽設置を合計 85 基分予定していたが、決算見込みでは 55 基分としている。</p> <p>歳入では、14 款国庫支出金 2 項 3 目 1 節保健衛生費国庫補助金、循環型社会形成推進交付金 63 万 5,000 円の減額は歳出の減額によるものである。</p> <p>( 主な質疑 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「公共下水が伸びない中、浄化槽設置補助事業についての啓発をどのようにしているか」との質問に「ホームページ、広報以外に整備区域外に文書等を出すことを考えている」との答弁。</li> <li>・ 「浄化槽設置ができる対象地域の戸数は」との質問に「1 万 4,000 世帯程度である」との答弁。</li> <li>・ 「補助金を申請するのは、新築と既存の家のどちらが多いか」との質問に「年によりバラつきはあるが、2 年セットでは半々である」との答弁。</li> </ul>	

## 【 6 款 農林水産業費 】

1 項 1 目農業委員会費は歳出の補正はないが、財源内訳が変更となるもので、内容は国県支出金を 7 万円増額し、一般財源を 7 万円減額するものである。歳入では、15 款県支出金 1 項 3 目農業費県負担金、農業委員会費 54 万 4,000 円の増額は農業委員の定数が 3 人増の 28 人になったことによる。2 項 3 目 1 節の農業費県補助金、機構集積支援事業費 47 万 4,000 円の減額は地方要望額が国の予算額を上回ったことによるものである。4 目農地総務費 28 節繰出金、農業集落排水事業特別会計繰出金 9 万 4,000 円の減額は決算を見込んでのもの。5 目土地改良事業費 13 節委託料 324 万 6,000 円の減額は後潟上地区の圃場整備事業の遅延により次年度に繰り下げたことによるもの。19 節負担金、補助及び交付金 1,939 万 5,000 円の減額は、7 件の事業内容の変更などによるものである。

3 項 3 目 13 節委託料 925 万円の減額は埴生・梶漁港海岸保全施設機能保全計画策定での入札結果によるもの。15 節工事請負費 3,499 万 9,000 円の減額は事業縮小によるものである。歳入の減額については歳出の事業費減額に伴うものである。繰越明許費補正のうち、6 款 1 項県営土地改良事業 879 万 8,000 円は 3 地区の県事業に係る市の負担金を繰り越すものである。

### ( 主な質疑 )

- ・ 「後潟上地区の土地改良費における市の負担割合は」との質問に「全体の 12%である」との答弁。
- ・ 「この工事の遅れの原因は」との質問に「圃場内のメイン道路予定地で土質等に不良があったため」との答弁。
- ・ 「高千帆排水機場の改修工事をする時の経費負担割合は」との質問に「国が 50%、県が 25%、市が 25%で、地元負担はない」との答弁。

## 【 7 款 商工費 】

1 項 1 目 28 節繰出金 24 万円の増額は水道局職員の児童手当が 2 人増で 3 人分になったため 2 人分を負担する工業用水事業会計に繰出すもの。2 目 13 節委託料 1,394 万円の減額は山口東京理科大学生市内定住促進業務委託料で、当初 630 人程度を予定していたが、申請者が 201 人であったため実績に合わせての減額である。19 節負担金、補助及び交付金 100 万円の減額は雇用奨励金の要件に該当する雇用がなかったためである。21 節貸付金 3,400 万円の減額は今年度実績で各金融機関に追加で預託する必要がないと判断したため。22 節補償、補填及び賠償金 200 万円の減額は今年度実績に基づき決算を見込んで、補償料を減額するものである。

歳入について、20 款 3 項 4 目商工費貸付金元利収入 1 節中小企業融資金貸付金元利収入 3,400 万円の減額は歳出の各金融機関に預け入れる預託金の減額にともなうものである。

### ( 主な質疑 )

- ・ 「理科大学生について約 100 人の申請が出ていないが、どのような啓発をしたのか」との質問に「10 月頃からスタートしたので P R が足りず、浸透しなかった。今年度に限り申請の出ていない 100 人の方にも猶予期間を与えることにしている」との答弁。
- ・ 「住まいる奨励金の学生側の反応はどうであるか」との質問に「現時点でのアンケート集計では全員が満足となっており、商業振興についても一定の成果があったと考えている」との答弁。
- ・ 「平成 30 年度の学生数 1,101 人のうち申請者の目標はどのくらいにおいているか」との質問に「市内に住んでいただき、全体の 7 割程度の申請を目標にしている」と

の答弁。

- ・ 「市内全ての事業所を対象とあるが、何店舗の協力店があるか」との質問に「市内 233 店舗である」との答弁。
- ・ 「雇用奨励金 100 万円減は件数ゼロか」との質問に「当初 5 人を予定していたが要件を満たすためのハードルが高いので実績はない。工場設置奨励条例の指定は受けているので少なくとも 5 人以上の雇用はあった」との答弁。

#### 【 8 款 土木費 】

1 項 1 目 19 節負担金、補助及び交付金 300 万円の減額は県事業による藤ヶ浴地区の急傾斜地崩壊対策施設改築に係る工事費の減額に伴い市の負担金も減額となる。2 項 1 目 19 節負担金、補助及び交付金 123 万 2,000 円の減額は県が発注する県道工事での入札差金等による減額に伴い負担金も減額となる。3 目 15 節工事請負費 200 万円の減額についても工事の入札差金を減額するもの。4 目 13 節委託料 983 万 1,000 円の減額は、円人道跨線橋の橋梁補修工事が完成し、西日本旅客鉄道より精算額が示されたことによる減額である。3 項 1 目 15 節工事請負費 1 億 645 万 6,000 円の減額は東下津地区内水対策施設工事の入札差金による減額。19 節負担金、補助および交付金 22 万 6,000 円の減額は県事業の入札差金による減額である。4 項 1 目 19 節 1,471 万 7,000 円の減額は山口県宇部港湾管理事務所より本年度の事業費の決算見込額が示され、それに伴い負担金を減額するものである。歳入については、国庫補助金等が要望額ほど配分されないもの、歳出での事業費が減額となった県事業などの負担金の減額が主なものである。

5 項 1 目 19 節負担金、補助及び交付金 1,182 万 4,000 円の減額は県事業に対する国の交付金が減額されたことによる総事業費の減額に伴い、負担金が減額となる。28 節繰出金 3,250 万円の減額は下水道事業特別会計において社会資

本整備総合交付金の交付決定に伴い、減額補正するもの。2目12節役務費25万1,000円の減額は山口ゆめ花博で展示したパネルで使用した花器運搬費を県が負担することになったこと。19節負担金、補助及び交付金、山口ゆめ花博市町実施事業補助金63万6,000円の減額は参加者が効率的かつ自主運営による経費削減に努めたことによるもの。4目15節工事請負費1,830万円の減額は小野田駅前広場において実施した3件の工事が完了したことによるもの。17節公有財産購入費664万5,000円の減額、及び22節補償、補填及び賠償金141万6,000円の減額は建物等調査算定業務による用地補償対象物件の補償額等の算定が完了したことによるものである。今年度の対象物件は用地8件、補償5件である。歳入については、歳出の事業費の減額に伴う減額が主なものである。

6項1目13節委託料68万2,000円の減額は無料で実施している耐震診断員の派遣業務で当初20件予定していたが、最終的に9件であったことによるもの。15節工事請負費514万円の減額は設計の精査や入札の落札減によるもの。19節負担金、補助及び交付金の耐震診断・改修事業補助金60万円の減額は申請がなかったことによるもの。歳入については、歳出の減額に伴う減額が主なものである。

繰越明許費については8款土木費2項道路橋りょう費、防災・安全交付金事業7,654万5,000円は年度内に完成しない4事業について繰越しを行うもの。3項河川費、東下津地区内水対策施設整備事業6,100万円は年度内に完了しない工事と、本年度中に契約する予定の電気棟等の前払金相当額を繰越すものである。

5項都市計画費、都市計画マスタープラン策定事業697万7,000円は現在実施中の都市計画マスタープランの改定を年度内に完了できなくなり業務委託料の全額を繰越すもの

である。改定した都市計画マスタープランの公表は平成 31 年 9 月頃の予定である。また、小野田駅前地区都市再生整備計画事業 6,163 万 1,000 円は、関係者の移転や補償物件の撤去等に時間を要することから事業の一部を繰越すものである。繰越した事業は平成 31 年 9 月頃完了予定である。

11 款災害復旧費 2 項公共土木施設災害復旧費、公共土木施設災害復旧事業 2,147 万 9,000 円は本年度被災した道路や河川の公共土木施設の災害復旧で年度内に完了しない 4 事業について繰越すものである。

( 主な質疑 )

- ・ 「県道などの整備事業で市の負担割合は」との質問に「10%である」との答弁。
- ・ 「ゆめ花博では大きなプラスが出たと聞くが、市町に還元されるものはあるか」との質問に「5,000 万円は大島の復興に充て、あと 5,000 万円は 16 市町で作る市町村振興協会に充て、残りは基金を作り、今後県と市が一緒になってやる事業に充てるとの報告を受けている」との答弁。
- ・ 「耐震診断の啓発はしているか」との質問に「ホームページと広報で周知を図り、相談会も実施している」との答弁。

## ■分科会長報告概要■

		平成 31 年 3 月定例会
		一般会計理科大分科会
議 案 件 名	議案第 2 号 平成 30 年度山陽小野田市一般会計補正予算 (第 9 回) について	
担 任 事 項	理科大分科会担任事項	
概 要	<p>大学費において、補正前の額 23 億 3,201 万 2,000 円を 1 億 4,603 万円減額し、補正後の額を 21 億 8,598 万 2,000 円とするもので、13 節委託料を 207 万 4,000 円、18 節備品購入費を 1 億 5,789 万 6,000 円減額し、25 節積立金を 1,394 万円増額するものである。</p>	
論点又は質疑 によって明らか になった事項 など	<p><b>【歳出】</b></p> <p>委託料の 207 万 4,000 円の減額は、C 棟完成により、決算を見込んで減額するもの。</p> <p>備品購入費の 1 億 5,789 万 6,000 円の減額は、薬学部校舎の建設が予定どおり進まなかったことから、その影響を受けて研究機器類の整備についても当初計画どおりに進めることができなくなったことによるもの。</p> <p>積立金の 1,394 万円の増額は、大学分として交付される普通交付税を活用して山口東京理科大生の市内定住を促進するための事業の減額分を公立大学法人運営基金に積み立てるもの。</p> <p>実験動物飼育業務委託については、大学側の要望で薬学部の先生方から、要求があったときに、速やかに対応できるようにしてほしいということで施設を確保している。</p> <p>佐賀県鳥栖市の九動株式会社と随意契約をした。</p>	